

皆さんの悩み、お聞きします

ケアラーの窓から Vol.22

あなたの“そばにある”

地域包括支援センター

地域包括支援センター（以下、センター）は、町役場新庁舎1階奥の6番窓口（福祉課内）で相談を受け付けています。「家族にケアが必要になった」「もし認知症になったら」「歳を重ねた後の財産管理」など、相談内容はさまざまです。相談することは、今後や制度活用サービスにつながる第一歩。窓口では社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員などの専門職がお手伝いします。

【問い合わせ】 地域包括支援センター ☎ 73-2255

【主な業務内容】



総合相談

来所相談や電話相談などで、皆さんの悩みを伺います（平日8:30～17:15）。デイサービスなどの介護サービスの利用、施設への入所を考えたい場合もご相談ください。役場で話しにくい方は、出張相談がお勧めです。

【出張相談（あんしん相談）】

■いきいき交流プラザ

毎週月曜 9:30～11:30

■遊歩道の駅つぎたて

毎月第1・3金曜 13:30～15:00



介護予防ケアマネジメント

介護保険制度でサービスを利用する時には、ケアプランの作成が必要です。センターでは、要支援認定を受けた方が必要なサービスを受けられるよう計画を立て、連絡調整を行っています。（要介護認定を受けた方は、町内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーがケアプランを作成）

また、町民の皆さんがますます元気に生活できるような運動や認知症予防の教室を開催しています。



権利擁護

認知症や判断能力が低下したときの財産管理・契約行為の代行を行う「成年後見制度」や、将来に備えた「任意後見制度」のサポートも行います。その他、万一虐待などの辛い出来事があったときの相談・支援も行います。



センターに所属する専門職員が対応します

／お気軽にご相談ください♪／

栗山学び隊 No.41

北海道介護福祉学校 「学校祭～Just Smile～笑顔の花を咲かせよう～」

一般公開ついに解禁！学校祭

一般公開を含む第36回学校祭が9月2、3日に開かれました。今年は4年ぶりに制限が緩和され、町内会をはじめとした地域の皆さん、在校生のご家族や介護事業所の職員など、多くの来場者が参加。実行委員長の旭岡琴巴さんは「学校祭は地域の方と交流できる貴重な機会。私たちの笑顔を届けながら楽しみたいです」と話し、学生が担当したイベン

ト、フードブース、装飾がそれぞれ展開されました。また、関係団体・機関にも協力いただき、クイズ大会や介護福祉の体験ブースなどが設けられました。来場された湯地中央町内会の方々に聞くと「いきいきとした学生の姿が孫と重なり胸が熱くなりました。一日も長く、元気でいなくてはと思いました。来年も必ず参加しますね」と話していました。

地域で輝く介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします



4年ぶりの大応援！

栗山高校体育大会 が行われました

栗高の秋の恒例行事「体育大会」が、9月15日に行われました。昨年までは一部プログラムや応援に制限がありましたが、今年は栗高生の大きな声援と笑顔があふれる一日となりました。体育委員長の原田涼花さんは「怪我無く楽しい思い出を作ってほしい」とあいさつ。バレーボール、サッカーをはじめ、二人三脚とムカデ（下段写真参照）



でゴールを目指す「ムカデ二人三脚リレー」、お題に沿った人を探す「借り人競争」などユニークな種目で盛り上がりしました。行事の運営は生徒会を中心に行われ、現体制での活動は今回で最後。原田さんは「事故なく終わって良かったです。自分の担当も回しつづ、全体の運営が上手くできて安心しました」とホッとした笑顔をを見せていました。